

新型ウイルス第8波・物価高騰などで苦境に立たされている中小業者に支援を

新潟民商

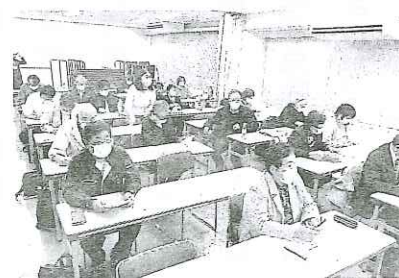
新潟民主商工会
新潟市中央区沼垂西3丁目10-14
電話 (243) 0141

22年12月12日

新潟市大運動実行委員会 市の各課へ予算要望・意見交換

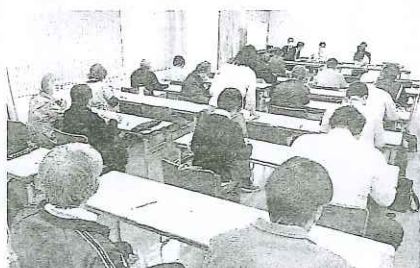
民商も参加する「新潟市大運動実行委員会」

は11月29・30日、来年度予算への要望を含めた意見交換を市の各課と行ないました。2日間の参加者は50名以上におよび、民商からは野上昇会長や松本里志副会長らが参加しました。



大運動の代表委員をつとめる井浦さん(守る会)が冒頭、「要望をまとめるのに2ヶ月かけてきた。市民のくらしと営業の状況は切実。それを守るためにどうしたらいいのか一緒に考えてもらいたい」と挨拶しました。

一日目は保険年金課や介護保険課などの福祉部との意見交換。松本副会長からは「同じ国保に加入して事業主だけ傷病手当の対象にならないのはおかしい」などの意見を出しましたが、保険年金課は「国が考えるべき問題」などと責任転嫁。しかし「生活保護水準以下になった場合は延滞金などを含めて滞納処分の検討をするのか」との問いに保険年金課は「法律が求めているので検討する」と回答しました。



二日目は産業政策課・商業振興課との意見交換。参加者は口々に現在の大変な実情を訴えましたが、担当課は「限られた財源で効果のあるものを考えている」などの回答に終始。実情に理解を示すものの、具体的な支援策は出されませんでした。

野上会長は「市長の姿勢そのものだ。政治を変えるしかない」と怒りを込めて話しています。

日程

- ・ 拡大統一行動日 12月18日(日)
- ※正午に事務所にて交流を行ないます(昼食有)
- ・ 大人のスマホ教室 12月18日(日)

「この場所を気兼ねせずに相談できる場へ」 同業者交流会―第2回飲食業者交流会―

12月1日に駅前支部の「スナック嵯峨」を会場に第2回飲食業者交流会が行われました。あいにくの天気でしたが総勢16名が参加し、活発に交流を行いました。



初めに野上会長が「飲食店は新潟の魅力。新潟を元気にするために要望を県・市に提案したい。生の声を聞かせてください」と挨拶。続いて松本副会長と駅前支部長の河原さんの進行で自己紹介や悩み、取り組んでいる工夫などが交流されました。

交流では「光熱費等の高騰で価格を上げざるを得ない。でも客離れが心配で何ヶ月も夫婦喧嘩しながら悩んだ」との発言を皮切りに、「値上げは悩んだ。同業者に相談できないし、周りが気になるけど情報が無い」などの発言が続きました。しかし「値上げしても大丈夫!色々話を聞くと、値上げでお客様が減った店は無いよ」などの経験聞き、「値上げに躊躇していたけど勇気が出た」とホッとした表情を見せる参加者もいました。

参加者からは「是非次回も参加したい。この様にざつぐばらんに話し合える場が欲しかった」などの意見が出され、次回は1月16日(月)に「ヤキトン酒場あんだが太陽」(中央区東大通1-7-30ホワイトビル2F)で午後2時より開催予定です。ぜひ参加ください。

新潟市12月議会に インボイス中止意見書の 採択についてお願いします

市内4民商共同でインボイス中止の意見書を国へ上げる請願を市議会に行います。委員会で趣旨説明を行なう予定です。みんなで傍聴して市議会に採択を求めよう!

支部役員向け インボイスセミナー

日時 12月19日(月)
 昼の部 14時~16時
 夜の部 19時~21時
 会場 新潟民商会館

インボイス中止の運動を
署名でさらに前に進めよう

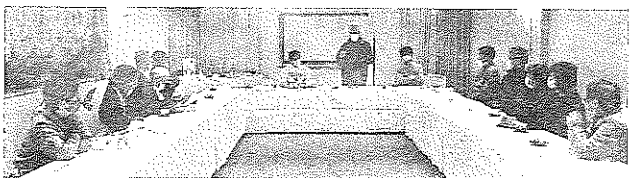
松浜支部

手術入院や新型コロナウイルス濃厚接触で給付体験談も交えて共済会学習会開催

松浜支部では12月3・4日「割烹の宿・湖畔」を会場に共済会学習会が開催し、13名が参加しました。

今回は「共済給付金の種類と条件や必要書類、請求の仕方」「新型コロナウイルスへの対応」について学習しました。

本名副支部長からは「大腸がん検診や集団検診」について、中村支部長からは体験談として「手術で入院し給付金を請求した後、家族が新型コロナウイルスに感染し全員が濃厚接触者に。家族も共済に加入しているので安静加療を請求することができた」と話し共済の大切さを訴えました。また、全商連パンフレットを使い民商の歴史や理念についても学習しました。



2部の懇親会では風間ルミ子市議、野村のり子さん（市議候補予定）が来賓として参加。恒例のビンゴ大会も開催されるなど終始盛り上がり、親睦を深めました。

閩屋支部

「コロナ感染でも給付されて本当に助かった」 「かに亭」で静かに学習―共済会学習会―

閩屋支部では11月20日に寺泊の「日本海」にて共済会の学習会を開催し、9名が参加しました。

初めに共済会の大島蔵副理事長から「絆を深め合い協力して団結し、共済の制度を知って知らせて組織しよう」と学習会の目的が語られ、「コロナ見舞金の請求の仕方などを中心に学びました。保健所の療養証明書でも待機期間終了日が未記載のものもあり、その場合は「役員確認書」が重要です。大島さんを大切に。「入会したばかりでコロナにかかったが、免責規定が免除されお見舞いをもらい助かった」との声もありました。

また支部の大腸がん検診の受診状況や共済加入者状況も報告。民商共済会の助け合いで運営され、加入者に還元されている事をみんなで確認しました。

近藤支部長の地元寺泊で、蟹を食べるのに夢中なのと宴会部長の不参加で、いつもより若干静かな？学習会となりました。



池支部

女性ならではの話題で大盛況 みんなで集まってランチ会―婦人部―

女池支部役員会では婦人部での集まりを定期的に継続しようと話し合い、6月の開催に引き続いて今月5日に釜めしを提供するお店を会場に婦人部ランチ会を開催しました。

それぞれ近況を伝え合いながら「支部の部員に婦人部の存在をどうアピールするか」や、これらのテーマを提案し合うなど楽しい時間を過ごしていました。

また、確定申告に向けての準備や、インボイス制度や電子帳簿など今の情勢に沿った支部の集まりが必要になってきているのではとの話も。「地域の業者にもアピールしていこう」と、部員の拡大のみならず会員の拡大にも意識を高め合い、これからの集まりにつながる貴重な発言も聞かれました。今後の女池婦人部の活動に期待です！



大腸がん検診 結果配布はじまる

11月に実施された大腸がん検診ですが、受診者数は529名でした。検査施設より結果が届き、各支部の共済系の役員に渡され、ぼちぼちお手元に結果が届いている頃だと思えます。

検査結果を確認しました

結果通知がマイナス（-）の方は陰性ですので今回再検査は必要ありません。逆にプラス（+）の方は陽性となりますので再検査が必要となります。

再検査費用の助成について

今年は34名の方に陽性が出ています。共済会に加入している会員で、3カ月以内に再検査された方には、民商県連から5千円が支給され、さらに新潟民商共済会から上限5千円（実費分）の助成が受けられます。あわせて上限1万円の助成が受けられます。健康あつての商売です。各支部で声を掛けあい、陽性の方は必ず再検査を受けるようにしましょう。

